

認定農業者だより

Next Step

日田版 令和5年 11月
 大分県西部振興局 生産流通部
 T e l : 0973-23-2217
 F a x : 0973-23-3473
 E-mail : a11610@pref.oita.lg.jp
 記事へのご意見等をお寄せください

ピーマン栽培をはじめませんか

空いた畑や水田で、何か栽培をしたい…と考えている方、ピーマンを栽培してみませんか？興味のある方は、下記担当までご連絡ください！

【栽培について】

霜が降りるまで収穫可能です！

露地	1月		2月		3月		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月	
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
	← 土づくり・圃場準備						X 定植		→ 収穫												← 圃場片付け			

【10a当たりの収益性】

区分	金額等	備考
収益	生産量 (kg)	5,600
	単価 (円/kg)	330
	金額 (円)	1,848,000
経費	合計 (円)	1,048,000
	農業所得 (円)	800,000

種苗費259千円、肥料費110千円、農業費70千円
 販売経費524千円、諸材料費85千円等

【おすすめポイント】

- 1 選果機が新しくなり、コンテナのまま出荷が可能です！
 (持込先：山田原集荷場、天瀬集荷場)
- 2 栽培管理が簡単で初期投資も少なく、夏秋野菜の中でも取り組みやすい作物です。

【作業について】

- 1 定植 (4月下旬～5月上旬)
 - (1) 畝をたて、フィルムマルチ栽培を行います。
 - (2) 10aあたり約1000本定植でき、苗は購入可能です。
- 2 収穫 (6月中旬～11月頃)
 - (1) ピーマンで最も労働時間の多い作業です。
 - (2) 収穫量がピークの8、9月は1日に収穫4時間、出荷調整2時間ほどかかります。
 - (3) 週2日出荷をしない日がありますので、前日は防除を行いましょう。



【栽培圃場について】

畑・水田どちらでも栽培可能ですが、雨水だけではかん水量が足りないため、水を確保できる圃場であることが重要です。

(園芸第一班 大塚、園芸第二班 河原)

【果樹】今後の管理について

ブドウや梨など収穫が終わり、ほっと一息ついていることと思いますが、この時期に今作を振り返って反省点を整理し作業体系を見直したり、新改植や品種構成の変更を検討するなど長期的な計画を立てましょう！

1 新改植の準備・縮間伐

老木樹で生理障害が発生している樹は改植等の準備を行いましょ。苗木の植え付けについては次のページを参考にしてください。

また計画的に縮間伐も行いましょ。永久樹や樹幹が拡大し間伐樹と競合するようになった場合や、部分的な改植で老木樹の間に新植した若木の樹冠が拡大してきた場合は、落葉前に縮間伐を行ってください。葉が着生している時期に行うことで、枝葉の混み具合や園内の明るさを確認でき、縮間伐を過不足なく行えます。

2 土づくり

土づくりは、深耕や堆肥施用により、土壌の通気性、保水性、排水性などを改善できる大切な作業です。肥料成分を供給することで、細根発生を促し、樹を健全に生育させ、収量や品質を向上させましょ。

度重なるスピードスプレーやなどの大型機械による踏圧で、土壌表層が固くなりがちです。土壌を柔らかくして、細根が発達しやすい状態にするために、有機物を施用して土壌の団粒構造を作るとともに深耕を行いましょ。深耕を行う時期は10月～11月で、12月以降は、春の根の活動が始まる時期が遅れるので止めておきましょ。



3 肥料施用

収穫が終わった園地では礼肥の施用と来年産に向けて元肥を施用します。

近年、秋季の高温傾向により、花芽や枝の耐寒性が十分に高まらず、花芽の枯死が増加傾向にあります。これらは肥料の遅効きにより発生を助長しますので、施肥時期には十分注意しましょ。

礼肥: 樹勢回復のため、速効性肥料を施肥します。これから礼肥を行う園地では、遅くならないように速やかに実施してください。

元肥: 通常は、落葉後の11月下旬から12月上旬に有機質主体の肥料を施用します。梨など、肥料の遅効きによる低温障害がみられる品目については、元肥の施用を2～3月に変更することを徹底しましょ。

* 施肥後に降雨がない場合は、灌水を行うことで、施肥の遅効きを防ぐことができます。



今年の冬は暖かくなることが予想されています。落葉が遅い年になると思いますので、元肥の施用時期には十分注意して、発芽不良を防ぎましょ！！

【果樹】苗木の植え付け

良い実をつけるための第一歩！

冬から春は果樹の植え付けの適期です。

果樹はその場で長く生育し、植え付け後の土壌改良はなかなか難しいです。最初にしっかり準備を行い、環境を整えることが、生育促進し長く良い実をつけてもらうための第一歩です！

これから数十年育つ場所です。
環境をしっかり準備しましょう！



1 植え付け時期

◆落葉果樹(ブドウ・梨など)



11月～2月中下旬

◆常緑果樹(ユズなど)



3月～4月上旬まで

2 植え付け準備(苗木が来る1ヶ月前までを目安に行うと良い)

(1) 植え穴はできるだけ広く掘るべし

直径：100センチ 深さ：50センチ程度

※果樹の根の張り方の特徴に合わせて植え穴を確保します。

(2) 事前に土壌改良資材を混ぜ合わせて埋め戻しておくべし

掘り上げた土と、完熟堆肥・苦土石灰・溶リンなどの土壌改良資材と混込み、盛り土して埋め戻します。植え付け時に窒素分を多く与えると根の張りが悪いので控えます。

(1穴あたり例) バーク堆肥 50kg / 苦土石灰4kg / 溶リン 2kg

※品目や土壌にあわせて内容・量は加減しましょう。

3 植え付け

(1) 植え付け前に根を水に浸し、吸水させるべし

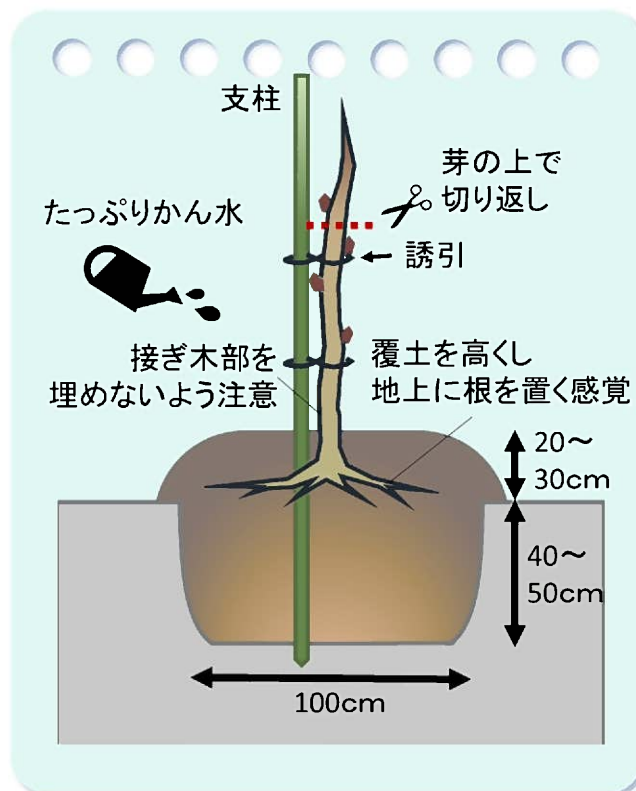
根が乾燥しないように扱います。植え付け前に半日程度水に浸して手早く植え付けましょう。苗木は芽を傷つけないよう注意します。

(2) 深植えにするべからず

植え付け後に土が落ち着き沈下するのを見込んで、植え穴部分は盛り土にします。高い覆土部分に根を埋める感覚で、深植えにならないよう注意します。

(3) 植えつけ時に、たっぷりかん水するべし

植え付け中は、土と根をなじませるために埋めながらかん水を行うのがおすすめです。苗木の先端は、発芽後に枝がしっかり伸びるよう、品目にあわせて切り返し、切り口に保護剤を塗ります。株元の土壌乾燥や雑草抑制のため、稲わら等でマルチを行いましょ。



4 植え付け後の管理

害獣対策は植栽前に必ず行いましょう。また、野ウサギ対策として株元を金網などで保護することもおすすめです。苗木は乾燥に弱いので、最初の1年は特に気をつけ定期的にかん水を行いましょ。

(園芸第一班 松井)

ヤマジノギク栽培を始めてみませんか？

1、ヤマジノギクとは？

ヤマジノギクは大分県農林水産研究指導センター花きグループで、50年以上前から品種改良を重ねて開発された菊です。関東、関西を中心に全国へ切り花として出荷されています。

2、主な作型

	6月			7月			8月			9月			10月			11月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
極早生	圃場準備			×	定植			●	挿心			収穫						
早生	圃場準備			×	定植			●	挿心			収穫						
中生	圃場準備			×	定植			●	挿心			収穫						

3、経営指標

生産量(本)	42,000
商品化率(%)	80
販売量(本)	33,600
販売単価(円)	46
販売金額(円)	1,545,600

*R2年大分県農業管理指標を基に
西部振興局で試算



4、栽培管理のポイント

- ・立枯れ症状が発生しやすい品目のため特に排水のよい圃場を選定する。
- ・暗きよ、額縁明きよ、高畝といった排水対策を行い、圃場内の滞留水を防ぐ。
- ・立枯性病害と害虫防除のため土壌消毒を徹底する。
- ・収穫、調整作業に労力が集中するので、系統を組み合わせることで10～12月まで出荷する。
- ・家族労働の場合、1系統あたりの栽培面積は10月出荷分が1a、11月が2a、12月が3a程度とする。

5、その他

- ・ヤマジノギクの栽培に興味がある方は大分県西部振興局生産流通部、市役所、農協等にお問い合わせください。

(園芸第一班 安部)

哺乳子牛の寒冷対策を行ないましょう！

1 肉用牛の適温域について

牛は寒さに強い動物と言われますが、哺乳子牛は育成牛や成牛と比べて適温域が狭く、寒さに弱いため防寒が必要です。これからの季節、寒冷対策を万全にしましょう！

発育ステージ	適温域	限界温度（低温）	限界温度（高温）
哺乳子牛	13～25℃	5℃	32℃
育成牛	4～20℃	-10℃	32℃
繁殖牛	10～15℃	-10℃	32℃

2 子牛が寒さに弱い理由

- ①体重に対する体の表面積が大きく、熱が逃げやすい。
 - ②体脂肪が少ない。
 - ③第1胃が未発達で発酵による熱が少ない。
- …上記の理由から、すきま風や冷たいもの、濡れた敷料に触れることで体温を奪われてしまいます。



3 寒冷ストレスが及ぼす影響

気温が低い環境では、牛は自らの体温を維持するために多くのカロリーを消費し、適温下と比べてより多くのエネルギーを必要とします。寒冷対策が不十分な場合、発育のために必要なエネルギーが不足して、発育の停滞や疾病をまねく恐れがあります。

4 効果的な防寒対策

①カーテン、コンパネ等ですきま風を防ぐ

…子牛に風が当たると体温の低下をまねくため、風の吹き込む箇所は塞ぎましょう。

②カーフジャケットやネックウォーマーの活用

…カーフジャケットを着用することで表皮の体温を維持できます。市販されているもの以外でも、使わなくなった衣類等で手作りすることも効果的です。

③ヒーター等による保温

…赤外線ヒーター等により、効果的に保温することが可能です。

子牛がやけどしないように設置場所には注意しましょう。

④敷料は厚めに敷く

…厚く敷いた敷料は空気を含むため、保温効果に期待できます。敷料が濡れている場合は子牛の体温を奪ってしまうため、なるべくこまめに敷料を交換しましょう。

※牛舎の換気もおこないましょう！

寒冷対策を行なう場合でも、換気は十分に行ないましょう。換気が不十分だと、糞尿から発生するアンモニアが滞留し、呼吸器疾患につながる可能性があります。

5 振興局による牛舎環境の測定もできます

振興局では、以下の機器を用いた牛舎環境の測定も可能です。

①風速計

②サーモグラフィーカメラ（気温の高い部分、低い部分を色で判別できます。）

③温湿度データロガー（温度と湿度を経時的に記録します。）

…農場の環境を数値で検証できます。興味のある方は振興局までご相談ください。

（畜産班 渡邊）

秋から冬にかけても被害対策を!

まだまだ、暑い日が続きますが、季節は確実に秋に向かっていきます。秋は「実りの季節」。この実りの季節を迎える為に鳥獣害対策を行ってきましたが、作付け、収穫は来年も続くことを忘れていませんか？

来年も引き続き、被害ゼロを目指すためには、秋～冬の被害対策がとても重要なのです。

1 電気柵について

電気は昼夜問わず 24 時間通電しましょう！

イノシシやシカは夜行性で田畑に来るのは夜だけと思っていませんか？

イノシシやシカは昼夜関係なく活動しますから、24 時間田畑を守る必要があるのです。

また、収穫後、電気柵を設置したままにするのであれば、作物が無くても通電させてください。電気の通っていない電気柵はただの紐です。このような状態にしておくと、イノシシたちは慣れてしまい、電気柵を恐れなくなるため、電気柵の効果がなくなってしまいます。

2 防護柵について

収穫後でも防護柵の門扉は必ず閉じましょう！

作物の収穫が終わった後でも、門扉は確実に閉じておきましょう。イノシシたちにとって、稲の二番穂や肥料として蒔かれた野菜クズなどは貴重な栄養源なのです。この餌を与えないように、必ず門扉を閉めましょう。

あわせて、可能であればすき込みを行えば、なお効果的です。



収穫されなかった野菜や、肥料とするために放置した野菜クズはイノシシたちにとって、立派な食料です。



3 集落の環境整備について

防護柵周辺の放任果樹を無くしましょう！

農地が電気柵や防護柵で囲われ、加害獣の侵入がなくても、その周辺に誰も管理していない柿の木や栗の木があると実が落ちて、加害獣を呼び寄せる原因になります。

収穫することのない果樹は枝を落とすか、伐採することで危険回避できます。



防護柵の外へ枝を伸ばした栗の木。柵の外側に実が落ちています。

(森林管理班 丸山)